

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

子どもたちの未来を創る「学びの部屋」実行委員会

取組事業

学習支援事業

活動実施場所

陸前高田市：広田小学校・米崎小学校・第一中学校
大船渡市：赤崎地区公民館・杉下仮設住宅・大田仮設住宅
（仲崎浜仮設住宅）（甬嶺仮設住宅）
宮古市：崎山中学校
釜石市：東中学校・唐丹中学校・小佐野地区公民館
住田町：世田米中学校
（ ）は平成28年度中に閉鎖もしくは休止

取組概要

【学習支援事業】

被災等により十分な学びの場を失った子どもたち（主として小学生、中学生、高校生を対象）に放課後や週末等の児童・生徒の学習支援を実施。

開催場所：陸前高田市3会場、大船渡市5会場、釜石市3会場、宮古市1会場、住田町1会場の全13会場（2016年11月末現在）。

時間：平日の夕方、日曜日の日中、生徒の長期休業期間等。

子どもたちの自学自習の支援を基本とし、学習支援相談員（地元の教員OBや塾講師等）が学習上の指導や助言にあたることで、生徒の学習上のつまずきを解消し、学力の向上や学習意欲の向上を図る。

研修会の実施：学習支援相談員や学生サポーター、地域関係者を対象に研修会を実施し、各会場の支援の情報交換や、地域のニーズの共有をし、支援の方向性の検討を行う。



事業成果

【成果】

- 支援員の学習指導により、自学自習時間、集中時間を継続的に確保した。
- 定期的、継続的な開催により、生徒の学習習慣作りに役立った。
- 単に学習面のみならず、心の居場所作りにもつながった。
- 英語検定対策講座を実施し、英語学習に取り組むことができた。英語の学力の向上が図られた。
- 身近なロールモデルである大学生の学習支援ボランティアとの交流の機会を作ることにより、学習面のみならず、精神的にもサポートができた。
- 参加生徒の様子に合わせ支援員配置をすることができ、個別の生徒の事情に沿った支援を行うことができた。
- 実施日数は722日、参加生徒数は延べ2889名、支援員数は延べ1234名、学生ボランティア数は延べ102名（2016年10月末現在）

課題や今後の取組

（課題）

- 不登校、生活困窮、学力不振、発達障がい等の課題を抱える生徒に対しての、支援の必要性や支援方法の検討の必要性がある。
- 復興の格差があることから、「学びの部屋」の在り方や支援方法の検討の必要性がある。